

◆平成29年度保健センター事業一覧

『保健センターの事業一覧』は、広報みよし4月号で折り込み配布されます。平成29年4月から平成30年3月までの保健センター事業を掲載しています。各がん検診・ママのための健康診断の申込み方法も掲載されています。大切に自宅に保管し活用してください。

◆保健センターからのお知らせ

4/1(土)から、竹間沢出張所での妊娠届出の受理および母子健康手帳の発行は致しませんので、ご注意ください。妊娠届出の受理および母子健康手帳の発行は、こども支援課または保健センターのみの実施となります。

はじめての離乳食 (離乳食教室) 定員 12組 参加無料

はじめての離乳食。「何からあげたらいいのか、どのようにはじめてたらいいのかわからない」。そんな疑問に答える講座です。実際に簡単な調理実習も行います。赤ちゃんのはじめてのごはん。一緒に作ってみませんか？
 保育はありませんが、お子さんと一緒に参加できます。



日時 / **3月24日(金)** 9:30~12:00
 対象 / 第1子(生後4~5か月)の子どもと家族
 場所 / 保健センター2階(調理室)
 持ち物 / ①エプロン ②三角巾(バンダナ可) ③手拭タオル
 申込方法・電話、FAX、メールで申し込み。メール、FAXの場合は以下の必要事項を記入。
 必要事項: ①参加するママの名前 ②住所 ③電話番号 ④子どもの名前と生年月日
 メールの場合は、上記の内容を記入し、件名に「離乳食教室申込み」と書いて送信してください。

中央公民館で開催 乳幼児のための病気対策と子育て座談会 定員 10組 参加無料

春夏にかけて流行する病気、皮膚疾患に関するスキンケア、予防接種のスケジュールや相談などの座談会を開催します。同じ年頃のお子さんを持つ保護者同士で語らいながら情報交換や交流も深めていきます。



日時 / **3月15日(水)** 10:30~11:30
 対象 / 乳幼児(0歳~未就学児)と保護者
 場所 / 中央公民館1階 子育てスタジオ
 講師 / 鈴木由紀さん(イムス三芳総合病院保健師)
 申込方法・中央公民館の窓口、電話、FAXで申し込み。
 問い合わせ 中央公民館 ☎258-0050 FAX 049-258-1833

休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	第二休日診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬3351-2	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬1967-1
電話番号	049-264-9592	049-252-4050	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日	月~土曜	月・木曜
診療時間	9:00~16:00 20:00~22:00	9:00~16:00	20:00~22:00	18:00~翌朝8:00まで 8:00~翌朝8:00まで

文学作品を朗読で楽しむ会 ~元NHKアナウンサーによる「片耳の大シカ」他~ 無料

3月4日(土) 14:00~15:30 受付 13:45
 ▶朗読 元NHKアナウンサー 寺田道雄氏、七月の朗読会 ▶対象・定員...中学生以上・40人
 ▶作品 「片耳の大シカ」(棕鳩十作)、「教授宅の留守番」(小川洋子作)、「一房の葡萄」(有島武郎作)
 ▶場所 中央図書館
 ※申込みは中央図書館にて受付中(電話可)

平成29年度 としょかん・くらぶ(小学生)会員募集

▶日程 第4土曜日(7・9・12月はお休み) ※第1回目は4/22(土)
 ▶時間・対象 10:10~11:00(小学1・2年 定員40人) 11:10~12:00(小学3~6年 定員55人)
 ▶内容 おすすめ本の読み聞かせ、読書力に応じた本の紹介。

▶申込方法 3月25日(土)12:00から中央図書館で受付。「としょかんくらぶ申込書」(図書館または町ホームページから入手可)に記入し、本人または家族が申し込み。電話で仮受付可。

- 「としょかん・くらぶ」は、こんな工夫をしています。
- ①読み聞かせ...「聞く読書」で深く読み取る力を。
 - ②ブックトーク(本の紹介)...専門司書がオススメ本を楽しく紹介。
 - ③紹介した本のリストを毎回配布...自分の読書記録に。

図書館だより

毎月23日は、「よみ愛・読書の日」
 三芳町図書館
 中央図書館 ☎258-6464
 開館時間 / 10:00~19:00(土・日18:00まで)
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
 竹間沢分館 ☎274-1722
 開館時間 / 11:00~18:00
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
 配本所(中央公民館内) ☎258-0050
 開館時間 / 9:00~21:00
 休館日 / 原則第1月曜日(中央公民館休館日)

卒業・旅立ち、にまつわる本

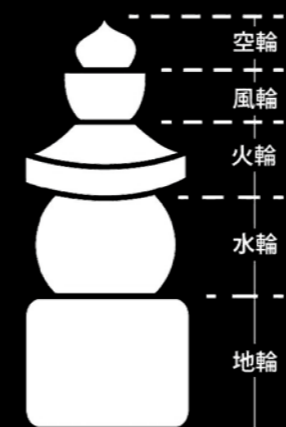
春へつづく
 加藤千恵 著
 ポプラ社 2013年3月発行
 請求記号: 913 カトウ

ある中学校の「あかぎの教室」。普段は鍵がかかっているその教室の扉が、卒業式の日の朝だけ開き、そこで願い事をすると叶うという不思議なジンクスが伝わっていた。8編の少し切なくも温かな物語集。

みよし歴史探訪

三芳の石造物 五輪塔

今年度は、石造物にスポットを当てて町内の文化財を見ることができ、年度の終わりにあたる今月号では、歴史民俗資料館で展示している石造物を紹介して締めくくろうと思う。
 資料館の常設展示室中央の展示スペースには、笠状の石造物の一部が二点展示してある。それぞれ宝篋印塔と五輪塔と呼ばれる石造物の一部で、町内の文化財では珍しい中世室町時代の製作と考えられるが、今回はこの二点のうち五輪卒塔婆・五輪塔場・卒塔婆などと呼ばれる、供養塔や墓碑として造立された五輪塔を紹介する。
 五輪とは、最近ニュースなどで話題に上がっているオリンピックではなく、密教の思想で物質構成の要素である「地輪・水輪・火輪・風輪・空輪」の五大を指す。五輪塔はこの五大を「方・球・三角・半球・宝珠形」にかたどって下から積んだ塔で、展示室にある五輪塔は火輪の部分のみである。一方、卒塔婆は仏舎利(釈迦の遺骨)を安置するインドのストウーパ(仏塔)の音に漢字を当てたものであるが、



現在では追善供養に用いられる板塔婆を指すことが多い。実は板塔婆の板上部にある切れ込みは、方円などをかたどって五輪を表しており、五輪塔が変形したものと考えられる。
 五輪塔はその性格上、墓地や寺院に多く見られるものであり、資料館展示室の五輪塔も泉蔵院境内の発掘調査により出土したものである。この調査では他に五輪塔の地輪の部分や、宝篋印塔の一部が穴に埋められた状態で見つかったおり、何らかの理由で破棄されたものと考えられる。中世の竹間沢地域に人の営みがあったことを示す貴重な石造物である。
 資料館展示室には、今回紹介した五輪塔や宝篋印塔以外にも貴重な文化財が数多く展示されている。来館して三芳町をより深く知るきっかけとしてみてはいかがだろうか。

問 文化財保護課 ☎258-6655